

販促カレンダー<8月> 葉月																															
31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	
				神奈川大山阿夫利神社秋季例大祭(29日)	山梨吉田の火祭り(27日)	東京亀戸天神祭(23日)	埼玉四萬部寺大施食会	地藏盆(24日)	処暑、千葉神社だらだら祭(16日)	神奈川鎌倉宮例祭(19日)		秋田花輪ばやし(20日)			滋賀建部大社船幸祭、静岡三嶋大社祭り(15日)	京都・箱根大文字	終戦記念日	水奈良春日大社中元万燈籠(15日)	月遅れ盆迎え火	●山の日、高知まきこい祭り(9日)	徳島阿波踊り(15日)	千葉館山安房神社例祭	長崎原爆忌、京都清水寺千日詣り(16日)、新潟祭(6日)	木曾御獄教御神火祭	水立秋、山口下関忌宮数方庭祭(13日)	火広島平和記念日、仙台七夕まつり(8日)	月山形花笠祭(7日)	日八戸三社祭(7月31日~4日)	土秋田竿燈(6日)、三重桑名石取祭(4日)	金青森ねぶた祭(7日)	木埼玉大宮氷川神社例祭



100th 国際経営株式会社 KOKUSAIKEIEI co.,ltd

## 実は上がっている？「日本の幸福度」

「世界幸福度ランキング 2024」日本は10点中6点で51位

日本の幸福度の推移(図表)を見ると、2017~19年を底に徐々に上昇しています。特に2020~22年はコロナ禍にもかかわらず最高値となり、直近では若干下がったものの6点台を維持し、過去最高水準にあります。

やや意外な感じもしますが、日本だけでなくコロナ禍における幸福度の推移は世界的にも同様の傾向にあるようです。想定よりも経済の落ち込みが避けられたことや、コロナ禍によって逆に人とのつながりが支えになった等の要



因が挙げられます。

そもそも世界幸福度報告では、どのように幸福度を測っているのでしょうか。実は各国の幸福度は、たった一つの質問への回答によって算出されます。自分の人生が理想的であれば10、逆であれば0とした場合に、どの段階にいるかを梯子(はしご)に例えて答えてもらいます。その上で幸福度に影響する6つの要因

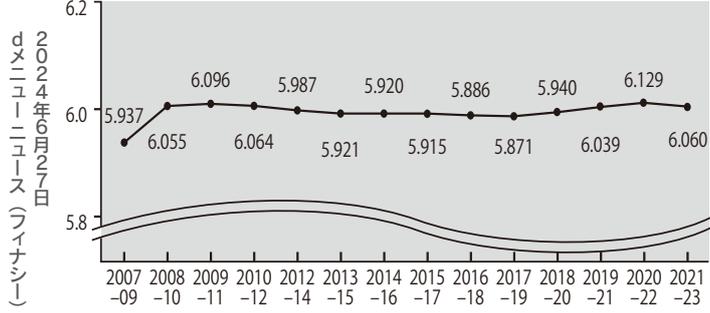
- ① 経済水準 ② 社会的支援
  - ③ 健康寿命 ④ 人生選択の自由度
  - ⑤ 寛容さ ⑥ 政治の腐敗
- として、どの項目がどの程度、幸福度に影響しているかを詳しく分析しています。

143カ国中51位の日本は、世界の平均以上です。その要因は経済水準(国民一人当たりGDP)にあり、強みともいえます。ただしランキング上位10カ国と比較すると、強みであった経済水準も相対的に低くなり、他の要因も同様の傾向にあります。唯一、健康寿命だけは上位10

カ国よりも高いという状況でした。

幸福度ランキングは順位にとられるのではなく、中身をひも解くことでさまざまな示唆にあふれていることに気付くことができます。自国の数値がどのように、どういう要因で動いているのかを分析したうえで、どんな施策が必要なのかを考え、社会に実装していくことが重要です。

日本の幸福度の推移 (第一生命経済研究所作成)



2024年6月27日 dメニューニュース(ライナール)

## 引き取り手がいない遺体で 自治体や警察の負担増加(埼玉)

2024年6月11日 NHKさいたま放送局

厚生労働省の最新の人口動態統計によりますと、おとし1年間に国内で死亡した日本人の数は統計開始以降、初めて150万人を超えました。多死社会が到来する中、1人暮らしの人の増加や家族のつながりの希薄化を背景に、亡くなったあと、遺体を引き取って火葬する親族がいない人が増えています。

**引き取り手がいない遺体が増加**  
NHKさいたま放送局は、埼玉県内の人口10万以上の自治体にアンケート調査を実施。その結果、昨年度、身寄りがいない遺体を引き取って火葬した件数は、少なくとも1504件に上ることがわかりました。これは5年前の1212件より24%増えています。一方、火葬までにどこまで親族調査を行えばいいかや遺体や遺骨、遺留金の取り扱いについて統一のルールはなく、それぞれの自治体の手探りで対応せざるを得ないのが実情だということも見えてきました。

身寄りがいない遺体を最終的に引き取る義務を負う自治体からは、火葬に至るまでの一連の確認作業の負担が大きくなっているという声が上がっています。このうち埼玉県朝霞市は、市が火葬を行った後、遺体を引き取ることができたという親族からの申し出を防ぐため、県が示すマニュアルに沿って、担当の職員が戸籍を3親等まで調査し、遺体の引き取りや火葬できる親族がいないか1件1件確認しています。

### 警察も対応迫られる

埼玉県警察本部によりますと、去年1年間に県内で行った検視などの件数は1万1905件で、5年前と比較して20%増えています。このうち4分の1にあたる3052件が、病気で自宅で死亡した1人暮らしの65歳以上の高齢者です。身寄りがなく引き取り手を探すのに時間がかかり、一定の間、遺体を警察署で安置するケースも増えているということです。こうした状況を受けて警察は今年度、遺体を安置する設備を拡充するなどの対応を迫られています。

### 専門家「国レベルで検討を」

自治体の火葬業務などの実情に詳しい長野大学の鈴木忠義教授は、「自治体が担う火葬や遺骨の管理などは福祉行政の中でも専門性が高く、人員や費用が限られる中で対応を迫られる。負担をどのように軽減していくかが課題だ。対応する自治体や警察の意見を聞きながら、国レベルで検討していくべきではないか」と指摘しています。

### 葬儀が数日遅れる ケースが増加

福井県内で通夜葬儀の日程が、遺族の希望よりも数日遅れるケースが増えている。葬儀社側の慢性的な人手不足が背景にあるとみられ、葬祭場に空きがあっても通夜葬儀が行えない場合もある。関係者からは「人員の補充がない限りは当面同じ状況が続くだろう」との声が聞かれています。

6月下旬の早朝、父親が死去した福井市内の30代会社員男性は、亡くなった日の翌日通夜、翌々日の葬儀を希望したが、葬儀社から示された最短の通夜日程は3日後だった。担当者からは「スタッフがいない」「ご希望の日程に対応できない」と頭を下げられた。男性ら遺族は葬儀場の安置所で父親の遺体に付き添ったが、その間に他家の通夜葬儀はなく、葬儀業界の人手不足を実感したという。

葬儀後2日間は関係各所へのあいさつ回りで過ぎ去った。男性は「忌引休暇中に父親の年金や金融機関、車の名義など多くの手続きを進めたかったが、

ほとんど手を付けられないまま職場に復帰した。気がかりなまま仕事をしなければならず、できれば1日でも早い日程でお願いしたかった」と振り返る。

これまで県内の通夜日程は午前に亡くなった翌日、午後だったから翌々日が一般的だったが、県内のある葬儀社の管理職は「今は長いと3〜4日待ってもらうこともある」と明かす。特に冬場は葬儀場が混み合うために「昨季はほとんどのケースで数日待ってもらった」という。この葬儀社では、各遺族の担当者として通夜葬儀を取り仕切れる社員は十数人。「本来ならば、あと3、4人必要だが、ここ4〜5年は退職者を補充できていない」。従来は最初に遺族に面会した担当社員が葬儀終了まで寄り添う体制を取ってきたが、近年は交代制を導入しないと社員が休日を消化できない状況が続く。管理職の男性は「今は多くの業界が人手不足。中でも葬儀業は魅力ややりがいを感じるのが難しく、採用に苦労している」とこぼす。

# 率先励行 葬儀会館の取組み

将来の見込み顧客となる個人会員数は、年間2〜3万人のペースで拡大

葬儀会館「ティア」の運営とFC事業を展開する株式会社ティア(名古屋市)は「ティアの会」の会員並びに同等のサービスを受けられる提携団体(法人・各種団体)を獲得することで、売上の成長につなげている。2024年9月期第2四半期累計の葬儀売上高の顧客別構成比を見ると、「ティアの会」会員で66.0%、提携団体で25.1%となっており、会員・提携団体向けで売上高の90%以上を占めていることから、その重要性がうかがえる。なお、フリー客の構成比が6.9%と前年同期比で3.3ポイント上昇したが、低価格ニーズを取り込むために非会員向けに提供を開始した「ティアシンプル」の売上

が伸びたことによる。

「ティアの会」は、入会金を支払うことにより会員特別価格で葬儀や葬儀後の法要、香典返しなどを利用できるほか、提携企業181社、全国241店で利用可能な「会員優待サービス」や「生き方応援ポイント」「葬儀保険」といった各種特典や割引サービスを受けられる同社独自の会員システムとなる。会員数は2024年9月期第2四半期末で511636人と年間2〜3万人のペースで増加し続けているほか、提携団体も1375団体と増加基調が続いており、今後も安定した需要が見込まれる。また、これら会員や提携団体については、新規事業として取り組んでいるTLD事業の有力な顧客ターゲットにもなっている。

2024年6月12日  
dメニューニュース  
FISSCO株式会社・企業報

## Youtube活用に成功している葬儀社 —SNS導入事例— 3/3

ここでは、すでにYouTubeチャンネルを開設し、業務に役立てている葬儀社様の事例をご紹介します。導入を検討される際の材料にとつぞ。

### ⑥「西田葬儀社チャンネル」

「みなさん、こんにちは」でおなじみの西田葬儀社のYouTubeは、大変珍しい、筆者一押しチャンネルです。なんといつても会社代表ではなく社員が登場している点が珍しく、その戦略は秀逸と言わざるを得ません。

蜷川さん(男性)と吉田さん(女性)による、葬業界らしからぬ「ゆるい」やりとりに、ほのぼのとしながら葬儀の知識を学ぶことができます。

また、2023年7月11日配信の動画から、吉田さんの異動に伴い、新たなブレンとなったのが入社したての女性社員の石橋さん。吉田さんよりもさらにゆるい新キャラクター

にも注目です。

西田葬儀社の秀逸な点は、ロケ、商品レビュー、シヨートコントなど、さまざまなコンテンツにトライする企画力や演者のやり取りに加えて、随所にテレビCMや新卒採用PVなどを配信しているところでもあります。

YouTubeというメディアの特性を企業側がしっかりと理解したうえで、有効に活用している様子がうかがえます。

また、社員たちが「やらされている」のではなく自ら進んで動画制作に取り組んでいる姿は、視聴者にも好印象を与え、企業イメージの向上に寄与し、認知拡大、集客、採用などにつながっているはず。

2023年12月27日  
葬儀屋・j p H Pより

# 終活川柳

鎌倉新書主催、第一回「終活川柳大賞」の佳作をご紹介します。終活をポジティブに、ユーモラスに描いています。

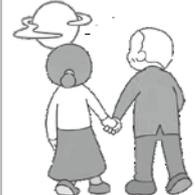
人の世の御縁に気付く縁デイング (お餅 徳島県 41歳)



あの世にはWi-Fiあるか孫が聞く (ちく 大阪府 41歳)



古希過ぎて「月が綺麗」と告げる恋 (ま〜ちゃん 石川県 79歳)



株式会社鎌倉新書  
コレカラ終活フェア運営事務局



● 八月のご命日 ●

「故人様と同じ日に、  
こんな方がお亡くなりになっています…」  
そんな一言をきっかけに、  
傷心の喪主様へ、さりげないたわりのお声がけを。

一日 (木) 友引 平成十九年(二〇〇七年)

阿久悠 (作詞家・放送作家)

昭和歌謡史を代表する作詞家。アイドル歌謡曲から、演歌、アニソン、特撮ソングまで多くの楽曲の作詞を手がけ、一時代を築いた。

二日 (金) 慶長十六年(一六一二年)

加藤 清正 (武将・大名)

豊臣秀吉の家臣で、「賤ヶ岳七本槍」。秀吉没後は徳川の家臣となる。関ヶ原の戦いの働きで肥後国を与えられ、熊本藩主となった。

三日 (土) 寛政四年(二七九二年)

リチャード・アークライト (発明家)

水車を動力とする水紡機を発明し、イギリスに産業革命をもたらした起業家の1人。

四日 (日) 平成四年(一九九二年)

松本 清張 (小説家)

『或る「小倉日記」伝』で芥川賞受賞。犯罪の動機を重視する作風の推理小説で知られ、代表作に『点と線』、『砂の器』等がある。

五日 (月) 友引 平成三年(一九九一年)

本田 宗一郎 (実業家・技術者)

本田技研工業株式会社を設立し、世界的企業へと育て上げた実業家。数々の名言を遺したことで知られる。

六日 (火) 万治三年(二六〇年)

デイエゴ・ベラスケス (画家)

バロック期のスペインの画家。マネが「画家の中の画家」と称し、スペイン絵画の黄金時代であった十七世紀を代表する巨匠。

七日 (水) 昭和六十二年(二九八七年)

岸 信介 (政治家)

第五十六・五十七代内閣総理大臣。アメリカとの相互協力及び安全保障条約の成立に尽力。

八日 (木) 昭和三十七年(一九六二年)

柳田 國男 (民俗学者)

「日本人とは何か」その答えを求め、日本列島各地や当時の日本領の外を調査旅行し、日本における民俗学を開拓した。

九日 (金) 昭和三十七年(一九六二年)

ヘルマン・ヘッセ (作家)

主に詩と小説によって知られる二十世紀前半のドイツ文学を代表する文学者。一九四六年にはノーベル文学賞を受賞した。

十日 (土) 令和二年(二〇二〇年)

渡 哲也 (俳優)

「大都会」「西部警察」など数々のドラマや映画で存在感を示した俳優。

十一日 (日) 友引 大正八年(一九一九年)

アンドリュー・カーネギー (実業家)

カーネギー鉄鋼会社を創業し、成功を収めた。教育や文化の分野へ多くの寄付を行った慈善活動家として知られている。

十二日 (月) 元治元年(二八六四年)

佐久間 象山 (兵学者・思想家)

開国論、公武合体論を説いた。私塾を開き、門下生には吉田松陰や勝海舟など幕末、明治維新に多大な影響を与える精鋭が数多く居た。

十三日 (火) 明治四十三年(一九一〇年)

フロレンス・ナイチンゲール (看護教育者)

クリミア戦争での負傷兵たちへの献身や統計に基づく医療衛生改革で著名な、近代看護教育の母。病院建築でも非凡な才能を発揮した。

十四日 (水) 昭和六十三年(一九八八年)

エンツォ・フェラーリ (実業家)

イタリアの自動車会社フェラーリの創設者であるモータースポーツ界の偉人。

十五日 (木) 昭和十三年(一九三八年)

ニコラ・ロメオ (実業家)

イタリアの自動車メーカーである「アルファ・ロメオ」を創設に深く関わる。高性能車メーカーとして名声を得た。

十六日 (金) 昭和五十二年(一九七七年)

エルヴィス・プレスリー (ミュージシャン)

ロックンロールの誕生と普及に大きく貢献した創始者の一人であり、ビートルズなど後進の様々なアーティストに影響を与えた。

十七日 (土) 令和三年(二〇二二年)

笑福亭 仁鶴 (落語家)

上方落語界の重鎮。NHK「バラエティー生活笑百科」の司会を1980年代から30年以上務めた。

十八日 (日) 平成四年(一九九二年)

ジョン・スタージェス (映画監督)

一九五〇年代、六〇年代に西部劇やアクション映画を数多く制作した。代表作に『荒野の七人』、『大脱走』等がある。

十九日 (月) 平成六年(一九九四年)

ライナス・ポーリング (化学者)

化学結合の本性を記述した業績によりノーベル化学賞を受賞。多方面に渡る研究者としても有名で、二十世紀を代表する化学者の一人。

二十日 (火) 元治元年(二八六四年)

久坂 玄瑞 (幕末の志士)

長州藩における尊王攘夷派の中心人物。吉田松陰の私塾「松下村塾」の門下生であり、高杉晋作と並び双壁と称された。

二十一日 (水) 昭和十四年(一九三九年)

久慈 次郎 (野球選手)

全日本チームにて沢村栄治とバッテリーを組み、アメリカ選抜チームを苦戦させた名捕手。第一回野球殿堂入りを果たしている。

二十二日 (木) 昭和十八年(一九四三年)

島崎 藤村 (詩人・小説家)

雑誌『文学界』に参加し、ロマン主義詩人として『若菜集』等を出版。さらに小説に転じ、『破戒』等で代表的な自然主義作家となった。

二十三日 (金) 明治三十三年(一九〇〇年)

黒田 清隆 (武士・政治家)

戊辰戦争で五稜郭の戦いを指揮。維新後は、開拓長官として北海道開拓に尽力。その後、第二代内閣総理大臣を務めた。

二十四日 (土) 安政五年(二八五八年)

島津 斉彬 (大名)

薩摩藩の富国強兵に成功した幕末の名君の一人であり、西郷隆盛ら幕末に活躍する人材も育てた。

二十五日 (日) 明治三十三年(一九〇〇年)

フリードリヒ・ニーチェ (哲学者)

『ツァラトゥストラはかく語りき』等の著書で知られるドイツの哲学者。巧みな散文的表現による試みには文学的価値も認められる。

二十六日 (月) 平成二十六年(二〇一四年)

米倉 斉加年 (俳優)

舞台や映画などで幅広く活動。ドラマでは、『国盗り物語』『花神』等に出演。また、演出家、絵本作家としても活動した。

二十七日 (火) 昭和四十年(一九六五年)

ル・コルビュジエ (建築家)

「近代建築の三大巨匠」に数えられるフランスの建築家。建造物の基準寸法「モデュール」の理論を提唱したことでも知られる。

二十八日 (水) 平成十九年(二〇〇七年)

ナンシー 梅木 (女優・歌手)

日本でジャズ歌手として活躍した後、渡米。一九五七年のハリウッド映画『サヨナラ』で東洋人の俳優として初のアカデミー賞を受賞。

二十九日 (木) 平成二十三年(二〇一一年)

滝口 順平 (声優・ナレーター)

日本初の吹き替え放送を担当した人物で、民間放送初の声優。旅番組「ぶらり途中下車の旅」のナレーションなどで親しまれた。

三十日 (金) 平成十五年(二〇〇三年)

チャールズ・ブロンソン (俳優)

男臭い風貌と巧みな演技が人気を呼び、俳優としての地位を確立。日本では化粧品「マンダム」のCMに出演し、一世を風靡した。

三十一日 (土) 昭和三十八年(一九六三年)

ジョルジュ・ブラック (画家)

パブロ・ピカソと共にキュビズムの創始者のひとり。絵画における発明の才はピカソも一目を置いた。



# 江原啓之氏がラジオ番組で 仏事の簡素化についての相談に…

2024年3月22日 TOKYO FM 江原啓之とおと語り

## 「リスナーからの相談」

江原さんは、仏事の簡素化についてどう思いますか？（簡素化は）仕方がない」となると、どんな「やらなくてもいい」となっていく気がします。

## 「江原氏の回答」

江原：スピリチュアルには鉄則があります。スピリチュアルは目に見えないことですよね。だから「どれだけしたか」ではなく、「どれだけ（気持ち）込めたか」が大切です。大勢の人が集まって盛大にやっていたって、誰もお父さんのことを思ってくれなかったり、みんなで親戚や近所の人たちの悪口を言ったりしていたら、何の意味もないでしょう。とはいえ「何でも簡素化すればいいものじゃない」という、相談者さん

添ってお通夜やお葬式をして、そして火葬して、気持ちを込めて送り出したほうが、よほどいいのではないかと思っています。

家族であつても友達であつても、心から「ありがとうね」「また会おうね、さようなら」と思ってくれたら十分。どんなに盛大で、立派な祭壇を作ってもらっても、形ばかりだったらよくありません。だから気持ち・心ですよ。形じゃないということとは、相談者さん

も今の言葉できつと分かります。私のお葬式で、理由はお葬式の費用が1番安かったから。「いやあ〜キリスト教は安くていいよ〜」なんて言っていたんです。

それと、気持ちがない人というのは、必ずその人に返ってきます。「自ら蒔いた種、自ら刈り取る」ということで、必ず何かで寂しい思いをします。そうしたときに「心が大切だ」ということに気づくんです。これは罰ではなく、その人が気づくんです。だから冷たい人というのは悪い人なのではなく、まだ本当の愛を知らないだけなのです。

江原：信仰としてもおかしいし、なんだかこう、人間の感性としてもおかしいですよね。心から寄り

# 高さ5・4 m薬師如来像 75歳が独学で4年かけて完成

2024年6月18日 NBS長野放送

長野市で75歳になる男性が、4年かけて、高さ5メートルを超える「薬師如来像」を完成させました。作者は農家の西沢治夫さん（75）。2020年1月から自宅の敷地で一人で制作を始め、4年余り経った5月末、完成させました。

仏像を作り始めたのは体力が落ちはじめた20年ほど前、友人から勧められたということです。「その人の仏像を見て、いやすごいな、俺もやってみようかなと思って。最初は、小さいのを彫ってたんだわ、何体か10センチぐらいの。だんだん彫り始めて、『結構いいね』と、それでハマっちゃったの（西沢さん）

以来、独学で腕を磨いてきた西沢さん。木材をチェーンソーで切り出してから「のみ」で彫り進



## ほんのり♡タイム

お葬儀面白エピソード

④ 私がまだ8歳くらいだった頃のお話です。親戚のお葬式があり、お経が始まりました。あとで聞いた話では、浄土真宗のお経だったらしいのですが、当時は、何を唱えているのかよくわからない言葉が延々と続きました。そのうちはお経と聞こえた言葉が「なまだー、なまだー」ああそうか、まだ火葬前だから生なのか。じゃあ火葬が終わったら、「焼けたー焼けたー」って唱えるのかな？などと考えたいたら、自然と笑いが込み上げてきて、神妙にお経を聴いている人たちの中で「クククッ…」と小刻みに震えながら笑い続けていると、隣に厳しい親類のおばさんから襟首つかまされて、式場外に連れ出されました。





# 新ご供養アイテム あれこれ…



## 聖なる香木のお香 「パロサントノオト」

創業300年超、お線香・ろうそくの企画開発を行っている、株式会社丸叶むらた(埼玉県)は注目のアイテム「パロサント」をふんだんに使用した純粋なパロサントの香りを楽しめるお香「パロサントノオト」を販売しています。パロサントの香りには心身を癒し、リラックスさせる効果があるとされています。また、浄化アイテムとしても使われ、マイルドフルネスとしてヨガや瞑想を「パロサント」の甘く幻想的な香りが深い呼吸を促進し、自然と心が落ち着き、ゆったり広がる香りは頭をクリアにし、瞑想状態へ入りやすくなると言われています。

これまで、パロサントの香木そのものに火を点け煙りと香りを出す方法が主流であり、危険を伴う部分がありました。そこで、火を点けて香りを出すことを得意とするお香に活かしては、と考へ、開発に至りました。純粋なパロサントの香りを出すためにパロサントの香木を輸入し、日本国内で粉碎しパウダー状にしてお香に直接練り込みました。天然成分だけを使用しています。香りの成分はパウダー状のパロサントだけ。つなぎの役割をするお香の主要原料「榲粉」と煙を抑える役割をする「木炭」と「パロサントパウダー」だけが原材料です。



© Press 株式会社丸叶むらた

## クリスタルの精霊 馬・牛

株式会社やまこう(名古屋市中区)は、現代の住宅事情に最適な「モダンまこもセット」の販売しております。お盆を迎える用品として伝統的な「ガラス製の精霊馬・牛」「大理石の真菰(まこも)」「モダン迎え火」の一式をセットにする事で、クリスタルの輝きとお線香の香りに包まれる、美しい様式のお盆飾りです。主要ECサイト、または、やまこう公式オンラインショップからご購入いただけます。

価格9990円(税込)



2023年7月11日 PR TIMES (株式会社やまこう)

## 東北の木彫り職人と作った、「精霊馬」

青森県八戸市で木彫りの馬を手掛ける「八幡馬」と中川政七商店のコラボ商品。仏壇彫刻にも使われるシナの木を使い、ひとつひとつ手仕事で作られたあたたかみのある精霊馬は、和洋様々なお部屋に馴染みます。麻素材のホオズキは、ご先祖様の道しるべとなる迎え火・送り火を表現。敷板付きでリビングや玄関などの省スペースでも、盆棚のように飾り付けができます。またすべて繰り返し使える素材・モチーフであることから、夏のしつらいとして毎年飾っていただけます。



2024年6月12日 PR TIMES (株式会社中川政七商店)

# 新刊! 葬儀関連書籍

新刊の売れ筋ランキングから 葬儀関連書籍2冊をご紹介します。



## 「死を乗り越える 名言ガイド」

著者/一条真也  
出版/現代書林

本書には、小説や映画に登場する言葉も含め、古今東西の聖人、哲人、賢人、偉人、英雄たちの言葉、さらにはネイティブ・アメリカンたちによって語り継がれてきた言葉まで、100の「死を乗り越える名言」を紹介しています。「死を乗り越える読書ガイド」(『死が怖くなくなる読書』を改題)『死を乗り越える映画ガイド』に続く「死を乗り越える」というシリーズの第三弾。



## 「人生後半、そろそろ 仏教にふれよう」

著者/古舘伊知郎  
出版/PHP新書

仏教をライフワークにするフリーアナウンサーの古舘伊知郎氏と、古舘氏が師匠と仰ぐ仏教研究第一人者の佐々木閑氏との共著です。69歳となった古舘氏が「釈迦の教え」を専門家に学び、死生観について語り合います。古舘伊知郎氏が推し活する釈迦の教え。老病・死に向き合い、「生きる意味」を考えるうえで、釈迦(ブッダ)の仏教がヒントになります。

※掲載の記事内容は、出典元の情報をできる限りそのまま引用していますがスペースの都合上、一部内容を編集させていただいております。

今日は  
何の日？

8月(葉月・August)

**1日**(大正13年)  
**「甲子園球場」が完成**  
アメリカ・ニューヨークのポログラウンドをモデルに設計。内野席全体に鉄傘が設置される。

**2日**(昭和3年)  
**織田幹雄が金メダル獲得**  
アムステルダム五輪で、三段跳びの織田幹雄が日本人で初めての金メダルを獲得。

**3日**(昭和30年)  
**漫画雑誌「りぼん」が創刊**  
月刊少女漫画雑誌「りぼん」が集英社より創刊される。漫画雑誌の名門と言える存在に。

**4日**(明治32年)  
**日本初のピアホール開業**  
日本麦酒醸造株式会社(現:サッポロビール)によって、東京・銀座8丁目に開業。

**5日**(大正1年)  
**日本初のタクシー登場**  
東京・麹町の「教寄屋橋タクシー自動車株式会社」が6台のタクシーで営業を開始。

**6日**(昭和30年)  
**原水爆禁止世界大会が開催**  
原水爆実験禁止を求める署名活動が世界に広がり、第1回大会が広島で開催される。

**7日**(昭和60年)  
**日本人初の宇宙飛行士誕生**  
土井隆雄さん、毛利衛さん、向井千秋さんの3名が日本人初の宇宙飛行士に選ばれる。

**8日**(昭和43年)  
**日本初の心臓移植手術**  
和田寿郎を主宰とする札幌医大胸部外科チームによって日本初の心臓移植手術が行われる。

**9日**(昭和62年)  
**初登板でノーヒットノーラン**  
中日の近藤真一投手が対巨人戦でノーヒットノーランを達成。初登板の投手では日本初。

**10日**(昭和35年)  
**インスタントコーヒー発売**  
森永製菓がコーヒー原液を噴霧・乾燥させたインスタントコーヒーを日本で初めて製造販売。

**11日**(昭和52年)  
**日本最大の造船が完成**  
日立造船が508,731重量トンのタンカー「エッソ・アトランチック号」を完成。当時日本最大。

**12日**(昭和37年)  
**堀江謙一が太平洋横断に成功**  
堀江謙一が小型ヨットでサンフランシスコに到着。日本人初の太平洋単独横断に成功。

**13日**(昭和2年)  
**日本初、ラジオで野球中継**  
大阪放送局(現:NHK大阪)が全国中等学校優勝野球大会の試合をラジオで生中継。

**14日**(明治9年)  
**「札幌農学校」が開校する**  
「札幌学校」が「札幌農学校」と改称して開校式を行う。クラーク博士が教頭として招かれる。

**15日**(昭和36年)  
**初の自動車専用道路が指定**  
京葉道路(東京都墨田区～千葉県千葉市)が全国初の自動車専用道路に指定される。

**16日**(大正2年)  
**日本初の「女子大生」誕生**  
「東北帝国大学(現:東北大学)」が女子3人の合格を発表。日本で初めての女子大学生が誕生。

**17日**(昭和23年)  
**プロ野球で初のナイター**  
日本プロ野球史上初のナイター(巨人対中日)戦が横浜ゲリック球場で行なわれる。

**18日**(大正4年)  
**第1回全国中学野球大会**  
大阪・豊中球場で第1回全国中等学校優勝野球大会が開会。後に「全国高校野球選手権大会」に。

**19日**(昭和4年)  
**ツェッペリン号が霞ヶ浦に着陸**  
ドイツの飛行船ツェッペリン号が世界一周の途中で日本を親善訪問。霞ヶ浦飛行場に着陸。

**20日**(昭和6年)  
**日本初の三色灯の信号機**  
赤、黄、青の三色灯の自動信号機が、銀座や京橋など34カ所の市電交差点に設置される。

**21日**(大正13年)  
**天気図が初めて新聞に掲載**  
「国民新聞」が日本新聞史上初めて天気図を掲載。翌年ラジオによる天気予報開始。

**22日**(明治36年)  
**東京初の路面電車登場**  
東京電気鉄道が、東京初の路面電車を新橋～品川間で運行。日本初は明治23年。

**23日**(昭和51年)  
**「国際安楽死会議」開催**  
「品位ある死を選ぶ権利」をめぐる「国際安楽死会議」の第1回が東京で開催される。

**24日**(昭和14年)  
**世界初のジェット機が飛行**  
ドイツのハインケル社が開発したジェット機「ハインケルHe 178」が極短距離飛行に成功。

**25日**(昭和33年)  
**「チキンラーメン」発売開始**  
日清食品創業者が世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を開発、発売。

**26日**(大正9年)  
**日本初の海洋气象台**  
神戸の海洋气象台が日本初の観測事業を開始。神戸の海運業者が資金を寄付して開設。

**27日**(昭和32年)  
**日本初の原子の火がともる**  
茨城県東海村の原子力研究所で実験原子炉が臨界点に達し、日本初の原子の火がともる。

**28日**(昭和28年)  
**日本初の民間放送開始**  
日本初の民間放送である日本テレビ放送網が本放送を開始。受信契約は3600を越える。

**29日**(昭和25年)  
**「文化財保護法」が施行**  
国宝や重要文化財等を保護するための法律。前年1月に法隆寺金堂が全焼したのがきっかけ。

**30日**(昭和53年)  
**王貞治選手が800号本塁打**  
巨人の王選手が、大洋戦で通算800号ホームランを放つ。最終的には868本に達する。

**31日**(昭和47年)  
**「ダイエー」が小売業第1位に**  
スーパーマーケットの「ダイエー」が、半期売上ではデパートの「三越」を抜いて1位となる。

